

森六アグリ

環境商材で本格攻勢

殻残らない緩効性肥料拡販

バイオスティミ
ュラント資材 東南ア開拓

森六グループの森六アグリ（徳島市）は、環境負荷低減に寄与する商材の提案を本格化する。殻が残らない自社オリジナルの緩効性肥料の販売に加え、環境に優しく作物の食味向上や収穫率アップに寄与するバイオスティミュラント資材の製品ラインアップを拡充、東南アジア市場の開拓にも努める。さらに森六から食品事業を譲受したことを機に、自社ビジネスとしてのシナジーを発揮していく方針だ。

森六アグリは森六のグループ企業で、肥料、農薬、農業関連資材の販売や農業用フィルムの加工、玄米や青果物など農作物やゴルフ用資材の販売を行っている。この4月には森六の食品事業を譲受した。大阪市と高知市に営業所を持ち、現在、関西や中国、四国地方など西日本地区を中心に販売を展開している。同社は近年注力している「汚泥由来肥料や菌体リ



ン肥料など環境対応型製品、猛暑対策用の遮熱フィルムなどを提案・販売している。22年から取り扱いを開始したバイオスティミュラント資材について、海外

バイオスティミュラント資材については海外とくに人口が多く農薬が盛んな東南アジア市場の開拓に努める。3月からグループ企業との連携によってインドネシアの葡萄園でテストを開始しており、タイでの活動も行っていく。

品添加物、輸入食材などが加わり、一貫したサプライチェーンを構築できるため、これを活用した事業展開を図る。

新たな取り組みとして、野菜のB級品などを活用したペットフードへの展開や、インドネシアでのハラルに対応した調味料の提案などを検討している。

今後は森六から譲り受けた食品事業とのシナジーを発揮していく。新たな商材として冷凍野菜や調理野菜、乾燥野菜、食

「UFエコフォレスト」